



大 阪 府 婦 防 協 だ よ り

“防災は 一人ひとりの かけ声で”
(大阪府婦人防火クラブ連絡協議会キャッチフレーズ)

ご あ い さ つ

～コロナ禍がもたらした
変化への対応と踏み出す新たな一歩～

大阪府婦人防火クラブ連絡協議会
会 長 田 中 夏 美

平素は、大阪府婦人防火クラブ連絡協議会の運営、活動にご支援・ご協力をいただき、心より厚くお礼申し上げます。また、日頃から各クラブのリーダーを中心に、防火活動・自主防災組織活動など地域の防火防災に取り組んでおられる皆様に改めて敬意と感謝を申し上げます。

さて、ここ2年余りコロナ禍の影響により、大阪府婦人防火クラブ連絡協議会においては、会議や研修会の中止、規模の縮小といった対応となりました。また、社会生活においても3密の回避、マスクの着用、手洗い、こまめな換気等の感染防止対策が習慣化するなど、コロナ禍は様々な変化をもたらしました。しかし、コロナ禍がもたらした変化は、決してマイナス面ばかりではないのではないのでしょうか。

例をひとつ挙げるならば、「家族で過ごす時間が増えたこと」

この変化は防災にとって大きなチャンスであると捉えております。

「災害は忘れた頃にやってくる」と言われますように自然災害や火災等は、いつ起きるかわからず、依然「南海トラフ巨大地震」の発生も危惧されています。そのような中、皆様のご家庭やご近所の方は、災害に対する備えはできて



いますでしょうか？

家族で過ごす時間が増えた今だからこそ、どのように備え、万が一、災害が発生した際に自分や家族がどのような行動を取るべきかを改めて考えていただくことで地域防災力の向上に繋がるものと確信しております。

コロナ禍がもたらした変化を大きなチャンスに変え、いつか来る大災害に備える新たな一歩をみなさんと踏み出していただければ幸いです。

今後も引き続き、新型コロナウイルス感染症への感染予防を徹底しながら、大阪府婦人防火クラブ連絡協議会の皆様、各婦人（女性）防火クラブ員の皆様と心をつなげて、いざというときに活動できる体制を整えていただきますよう切望いたします。

終わりに臨み、関係各位におかれましては、大阪府婦人防火クラブ連絡協議会に対しまして、より一層のご支援、ご協力を賜りますことをお願い申し上げますとともに、各婦人（女性）防火クラブの今後益々のご活躍、ご発展を心よりご祈念申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

『お出かけは マスク戸締り 火の用心』

(2022年度全国統一防火標語)

大阪府婦人防火クラブ連絡協議会

〈事務局〉

大阪府危機管理室 消防保安課 消防指導グループ

☎540-8570 大阪府中央区大手前2丁目

☎06-6941-0351 内線 4868

令和 4 年度 大阪府婦人防火クラブ連絡協議会役員総会

令和 4 年 6 月 1 日（水）、大阪府災害対策本部会議室（府庁新別館北館）において、令和 4 年度大阪府婦人防火クラブ連絡協議会役員総会を開催しました。

総会は、田中会長の挨拶で始まり、以下の議案について審議を行い、(1)～(5)について原案どおり決定されました。

- (1) 令和 3 年度事業報告
- (2) 令和 3 年度収支決算報告及び監査報告
- (3) 令和 4 年度事業計画
- (4) 令和 4 年度収支予算
- (5) 大阪府婦人防火クラブ連絡協議会会則の改正について

令和 4 年度 事業 計 画 書

実施予定月	事業内容
令和 4 年	
6 月	○「役員総会」の開催
7 月	○「代表者研修会」の開催
10 月	○「役員会」の開催
11 月	○「近畿ブロック女性防火クラブ等幹部研修会」(京都府)
12 月	○「指導者研修会」の開催 ○ 機関紙『大阪府婦防協だより』の発行 ○「大阪府防火クラブ大会」の開催
令和 5 年	
1 月 (随時)	「代表者交流会」の開催 婦人防火クラブ設置促進 ○ 婦人防火クラブ設置促進 「府市合同防災訓練」への参加協力 (秋頃) (一財)日本防火・防災協会等が主催する各種事業への参加 ・女性防火クラブ全国集会 (11 月) ・応急手当普及啓発推進会議 (11 月) ・全国婦人防火連合会総会 (1 月)

自助共助の大切さを再認識

豊中女性防火クラブ連絡協議会

会長 山本のり子

「なんちゅうことや！これ！」

阪神淡路大震災の映像とともに流れる悲痛な声で、一瞬にして当時の恐怖が蘇り、背筋がぞっとしました。

先日、私は堺市総合防災センターで開催された大阪府婦人防火クラブ連絡協議会の代表者研修会に参加しました。そこは約 2 時間のコース（映像による学習、地震・煙・消火体験等）で、様々な体験や学習が出来る施設でした。

令和 4 年 4 月 15 日にオープンしたばかりの綺麗な外観で、私はワクワクした気持ちで入館しました。しかし、体験コースの「映像による災害学習」で、文頭の言葉が怯えた声で館内に流れた直後から心拍数が上がり、走馬灯のように当時の情景や恐怖が頭の中を駆け巡りました。

「映像による災害学習」は、わずか 10 分程度の時間ではありましたが、非常にインパクトの強い映像や情報ばかりで、非常に勉強になりました。その中でも、最も印象に残ったことは自助共助の大切さです。阪神淡路大震災では、救助隊によって助け出された人の割合は、わずか 1.7% に過ぎず、97.5% の人が自助共助によって助け出されていたことを知り非常に驚きました。この事実は、女性防火クラブ員の間でも共有するべきであり、それを各クラブ員から家族や友人にも話をする事で、改めて自助共助の大切さを広く認識させるべきであると強く感じました。

そして、自分達で何が出来るのか、何をしなければならぬのか、皆が自分事として考えるようにするために、女性防火クラブ員として一端を担う責任を感じずにはいられませんでした。

今後 30 年以内に 70～80% の確率で起こると予測されているマグニチュード 8～9 程度の南海トラフ地震が発生した際、この研修会で学び、その後に取り組んだことが、多くの人々の命を救う一助になったと言えるよう、女性防火クラブの活動を通して自助共助の大切さを少しでも多くの人に伝えていきたいと思いました。



備える事の大切さ

貝塚婦人防火クラブ

委員長 荒本 政美

私が委員長を引き継いだ頃から新型コロナウイルス感染症が広まり始めた為、様々な行事や計画が実行出来ない状況になってしまいました。

こんな状況に全世界が陥るとは誰も想像していなかった事でしょう。

貝塚婦人防火クラブ員として長く関わって来ていた中で、昭和・平成・令和と色々な自然災害が多発していますが、日頃からの防災訓練や家庭防火の研修、婦人防火クラブ連絡協議会による情報交換や研修会を通して地域を守るために少しでもお役に立てる婦人防火クラブ員でありたいと奮闘し続けています。

そんな中、今年3年振りに少年消防クラブの入隊式だけは執り行う事が出来ました。いつもでしたら消防署で職員の皆様と、はしご車などを体験出来ていたのですが、密を避ける為、今回は公園をお借りし隊列や敬礼訓練などを消防職員の方から受けられ、子供達の緊張した趣を久しぶりに見る事が出来感激しました。

近年、台風や水害の巨大化が進み避難者が続出しているように思います。こんな時私達に何が出来るのでしょうか？私達一人一人の力ではどうにもならないかも知れませんが、小さな力を合わせる事で大きな力にして「家庭防火は主婦の手で！」を実行し伝えて行くことが使命と思っています。

それには普段の救命講習や初期消火・避難訓練が少しでも役に立つことが出来る備え、知識や技能を少しでも多く積極的に取り入れ安心して暮らせる街づくりに多方面と協力し合い繋げていけたらと思います。

今直ぐに出来る防災！それこそ備えではないでしょうか。食料や水といった備えだけではなく知識や経験・訓練そして情報の備え。地域に根付き協力し合い支え合い少しでも意識を高めていただけるように備えを忘れずにこれからも活動を広め、持続させて行きたいと考えています。



楽しいイベント参画

羽曳野市婦人防火クラブ

会長 木村 真知子

この2年間、コロナ禍で思うような活動が行えませんでした。行事ごとは中止、延期となり、会議等は相次いで書面会議となり活動すべてが人と人の交流が行えなくなりました。しかし、去る5月5日（こどもの日）に毎年行われていた『はびきの市民フェスティバル（第45回はびきの市民フェスティバル白鳥伝説）』が3年ぶりに行われ、私達はこのフェスティバルの実行委員会として第11回目より参画しています。

会場は、L I Cはびきの及び広々とした公園内に世界遺産の一つである「峯ヶ塚古墳」がある峰塚公園で行われました。今回は『笑顔～人と人の繋がりを大切に～』をテーマに子供中心の行事として、大勢の子供達が参加して頂きました。

例年通りオープニングセレモニーから始まり、舞台では子供が喜ぶヒーローショー等愉快的催し物をはじめ小さな子供はこいのぼりを作り、小学生は迷路で「キャー」と言いながら楽しく遊んでいました。他には風船で色々なクラフトを一生懸命作る子供達の姿が印象的でした。例年は60張り位のテントが並びますが、今年は規模を少し縮小して行われたため、飲み物の販売するテントを私達が担当し、2箇所に分かれて出店しました。特に暑い日だったので大繁盛で、氷の入った水の中に手を入れ「冷たい！」と言いながら楽しく販売できました。また、ゴミ分別コーナーも担当し、ゴミの分別収集を子供達に体験してもらいました。子供達は、ペットボトルの蓋を取りラベルも剥がして分別のケースに楽しそうに入れてくれました。

「ゴミ問題、環境問題に関心を持ってくれるかな…」と思いを抱きながらも、公園内のゴミが殆ど落ちていないことに嬉しさを感じました。また、来場者の方からこのイベント会場は「ゴミが無くて気持ちがいいですね！」と声をかけられます。

一方、L I Cはびきの前では羽曳野市役所、女性消防団及び柏原羽曳野藤井寺消防組合の方がこども消防車の展示撮影、水消火器体験コーナーを設けていました。特に子供達がこども消防車に乗り、カメラに向かって得意げにポーズをとる姿はなんとも微笑ましく、久々のイベントで私達も楽しむことができたと同時に、防災の認識を持ち帰っていただく良い機会になりました。



防火・防災を身近に

和泉市女性消防クラブ連合会
緑ヶ丘校区女性消防クラブ

委員長 岡 島 保 子

私たち緑ヶ丘校区女性消防クラブは、和泉市女性消防クラブ連合会を構成する組織の一つとして発足し、今年で創立24年目となります。その間「我が家の防火、防災」をテーマに月1回の定例会で楽しく学び合い、地域につながる活動を心掛けてきました。

防火に関しては、バケツリレーや水消火器を使った消火訓練を実施しました。自治会の夏祭り時には子供向けに「投てき水パック」コーナーで、身近な初期消火を体験してもらいました。

防災に関しては、非常持ち出し袋の点検、三角巾の使い方、非常用トイレの工夫、防災グッズの検討、車中泊時の工夫、AED講習の受講等を行いました。

防災食では、ポリ袋で作る鯖缶カレーや火を使わない乾物サラダ等サバイバルクッキングを試みました。

災害時の避難所運営等についても、炊き出しの輪番制や身の安全性等、女性の視点が大切ということクラブ員の共通認識としています。

ここ2年余りはコロナ禍で活動も制約されましたが、制限解除の合間を縫って和泉市中央消防署新庁舎（令和2年4月開署）や堺市総合防災センター（令和4年4月15日オープン）の見学を行い、秋の野外研修ではみかん狩り等のお楽しみの要素を織り交ぜて活動しています。

また、定例会の報告書には「掲示板」と称して、クラブ員の一言コーナーを設け、数珠繋ぎで書いてもらいコロナ禍の意思疎通を少しでも補っています。おすすめ料理あり、俳句あり、「鈴虫要りませんか？」の記事があるなど毎回楽しみです。

当クラブの今年度の取り組みは、「地域の子供たちと共に防災を学ぶ」です。自分たちが学んできたことを少しでも若い人に伝えていくことが出来ればと、あれこれ企画を考えています。

もう一つの取り組みは、「家の整理整頓」です。家の中がきちんと整理整頓されていると安全に必要なモノがすぐ分かるので防災の要となるということです。「我が家の防火、防災」を日頃の整理整頓でより充実させていきたいものです。

コロナ禍で40周年を迎え、 with コロナでの活動へ

吹田市家庭防火クラブ連絡協議会

会長 阪 本 緑

吹田市家庭防火クラブ連絡協議会は、現在では30クラブ308名で構成され、家庭における防火責任者として、「家庭から絶対に火事を出さない」をモットーに防火・防災運動、救急啓発活動などを実施しています。

さて、吹田市家庭防火クラブは、家族一人ひとりが火災予防の知識を習得し、火を使用する器具等を火災予防上安全に使用できるようにするとともに、消火器等の使い方及び通報連絡の方法等の行動的知識を習熟し、一般居住建物からの火災の発生を防止、併せて地域の隣保協力体制と連帯意識の高揚を図ることによって、恒久的な明るい家庭づくり、安全な地域づくり、安全な社会づくりを目指すことを目的に、昭和56年12月に「婦人防火協力会」として発足し、昨年度40周年を迎えました。

令和元年度からのコロナ禍によって様々な行動が制限される中、家庭防火の推進と隣保協力体制が維持されているのは、これもひとえに各クラブの地域における取り組みの賜物であり、関係機関の方々の温かいお力添えがあつてのことと思います。

当分は“with コロナ”の生活を余儀なくされ本来の日常生活に戻るのには難しいかもしれませんが、私たち吹田市家庭防火クラブ連絡協議会は、この逆境を乗り越え、これを契機に会員一人ひとりのつながりを一層強化し、今日まで会員の方々が築いてこられた活動を継承し、吹田市が掲げております「安心安全の都市づくり」に微力ではございますが、今後とも最善を尽くしていく所存でございます。

最後に、医療従事者をはじめ、新型コロナウイルス感染症対策に従事されている方々に感謝を申し上げると共に、皆様の一層の御健勝と御活躍を心から祈念いたします。



コロナ禍でも繋がりを大切に

四條畷市女性防火クラブ連絡協議会

会 長 古々本 香代子

四條畷市は2020年7月に市制施行50周年を迎えました。人口55,000人余りの小さな市ですが、生駒山系の豊かな自然や歴史遺産にも恵まれた街です。私達の女性防火クラブも発足38年になり、現在は3クラブで活動しています。

この数年思いもよらぬ新型コロナウイルスの猛威にさらされ、生活、活動又はその役割も大きく変わってしまいました。集まることができず、研修会やイベントが次々と中止になりました。

そのような中であっても新しい形の研修会ができないかと、女性防火クラブ内で話し合い、事務局と調整を図り、3密を避けるために広い講堂にてスライドを使った研修や、東京の講師とオンラインを使った研修といった取り組みをしました。今回は「防災」をテーマに地震や水害、そして女性防火クラブらしく、「お家でできること」との副題で、皆で学びあいました。

屋外でのイベントなら感染リスクも低いと考え、自然豊かな森を山火事から守るための山林パトロールは継続して実施することにしました。皆で歩いて火災予防のポスターを貼り、山道のゴミを拾い、いいお天気の中で清々しく、久しぶりにいい気分となりました。また、救命講習を受けてAEDの使い方を学んだことから、「わが地域のAEDはどこにあるの？」と皆で地図とにらめっこしながら確認に歩き、ハザードマップ作りに一役買いました。

こういう予測もつかないwithコロナの時代だからこそ、地域のつながりが大事だと思います。「地域は一人ひとりの声掛けで」のスローガンのもと、お互いに声を掛け合い、励ましあうことの大切さを実感しています。

日々の暮らしの中、火災や災害がいつ発生するやもしれません。スローガンを「防火・防災は一人ひとりの声掛けで」に昇華し、「何もできないではなく、何かできることを見つけ出し、今後も連携・団結し進んでいく」という前向きな気持ちがとても大事だと思いました。これからも皆とともに力を合わせて少しずつ変化を受け入れ、活動を再開させていければと思います。

これからも皆さまよろしくお祈りします。



ZOOMによるオンライン研修



山林パトロールの様子

コロナ禍における 女性防火クラブの活動について

大阪市西区女性防火クラブ

喜多村 操

大阪市女性防火クラブは、各消防署管内に組織された合計25クラブで構成されています。

今回は、そのなかでも西区女性防火クラブの取り組みをご紹介します。

大阪市のほぼ中央に位置する西区には14の連合が連なり、この地域で女性防火クラブが発足したのは今から30年以上前の平成3年となります。この期間、西区では高層マンションが次々と建設され街並みもずいぶん様変わりしましたが「家庭からの出火防止」「自分たちの地域は自分たちで守る」というスローガンで一貫し、今日まで活動を続けております。

主な活動は、各連合会館や消防署における防火・防災訓練の他、過去には阿倍野防災センター（大阪市）、野島断層保存館（淡路市）等の防災関連施設を訪れ研修を行い、今年度はグランドオープンした堺市総合防災センターでの研修を予定しております。

しかしながら、ここ2年は新型コロナの影響を受け、思うような活動ができず、各支部委員長との交流も希薄になりがちでした。人との接触が制限された中、少しでも迅速な情報の共有を図りたいという思いで生まれたのが、スマホ（ライン）を活用し会員同士の連絡網を確立するウェストウーマン（グループ名）でした。当初はスマホの扱いに不慣れな私たちでしたが、今ではSNSグループチャットを活用したりリモート会議を開催するなど、感染防止に重点を置いた活動も実施し、新型コロナ発生前以上に頻繁な交流を実現しております。

活動を通じて得た情報や知識は、ご近所の顔見知りの方へワンポイントメッセージとして伝え、少しでも多くの人たちに防火防災意識の向上が図れるよう努力しています。

区民の皆さんには「自助」「共助」の大切さを知ってもらい、今後、予想される大規模災害発生時の被害の軽減を目指し、積極的に取り組んで行きたいと考えております。まだまだコロナ禍ではありますが、創意工夫を重ね、私たちの地道な活動で西区が災害に強いまちとして発展するように微力ながら貢献できればと考えております。



いま、婦人防火クラブが 期待されていること

松ヶ丘婦人防火クラブ

中 村 美知代

松ヶ丘婦人防火クラブは、昭和56年7月に結成されました。ちょうど、神戸ポートアイランド博覧会の開催、千代の富士の横綱昇進、ピンクレディーの解散などの年と重なります。翌年は、500円硬貨やテレホンカードが発行されました。そして、ホテル・ニュージャパン火災や日航機の墜落事故など、社会に大きな影響を与える事故も起きました。

そのような時代背景のもと、日常生活において常に火気を取り扱う婦人に対し、火災予防の普及と一般的な防火思想の向上を図り、火災事故のない明るいまちづくりに寄与することを目的としてクラブは結成され、今年で41年を迎えました。

この間に時代は進み、働く女性の増加、そして男女関係なく活躍する社会へ、そして多様性を尊重し誰もが共に協力し合える社会へと向かって進んできました。発足当初のように女性は家庭にという状況も人々の認識も大きく変化する中、一人でも多くの人が幸せを得られる社会の実現のために、私たち婦人防火クラブに寄せられる期待は、「多様性」をキーワードにより高まってきていると感じます。

多くの先進国では、日常でもたとえ災害時であっても、誰もが尊重され安心できる環境が得られる社会を目指して歩んでいます。社会的弱者は、災害時には更に厳しい状況になりがちです。たとえば避難所の環境に目を向けると、年齢、性差、障害の有無など、さまざまな要因で受ける厳しさが変わってきます。LGBTQを含め、マイノリティの方々も大きな影響を受けるでしょう。多様性を尊重し、すべての人々にとって安心できる環境を創るためには、より多様な視点と、埋もれがちな声が重要です。婦人防火クラブは、自然災害が少なくない日本の防火防災の分野において、人それぞれのあらゆる違いを超えた安心のため、多様性を広げるきっかけとなる大事な視点と声の役割を担っているものと感じています。

ここ数年はコロナ禍による影響でなかなか思うように活動できないのが現状ですが、クラブとして救命講習の受講は感染防止対策を行ったうえで続けています。災害の発生はコロナを考慮してはくれません。言い換えると、平時から感染防止対策と防災活動の両立をどれだけ可能にしておけるかが、今、問われている状況です。また、そのような難しい中だからこそ、災害時に私たち女性の視点と声への期待も、より高まるものと感じています。

私たちは、災害時の実活動面はもちろんですが、なによりも地域の防火防災意識を高める代替性のない担い手として、町会や防災機関などの協力を得ながら、まちの安心・安全と活性化に向けて、これからも私たちならではの活動を通じて貢献していきたいと思えます。

コロナ禍での行事活動

大阪狭山市女性防火クラブ

会 長 溝 端 洋 子

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、令和元年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において初めて確認されて以降、国際的に感染が拡大し、衰えることなく日本全国に広まり、今なお終息は見られません。

このような中で、私たちの行事活動は感染対策の徹底を行いながら、活動を止めることなく実施することとし、令和2年7月30日に創立30周年を迎え、総会と記念行事を兼ねて執り行いました。

記念行事では、「創立30周年記念誌」及び「防災アームカバー」を記念品とし、クラブ員に配布をいたしました。

また、記念研修会として、京都府宇治市にある世界遺産「平等院」を拝観し、平等院の防火・防災対策を学びました。

令和3年度の行事活動にあっては、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の影響により行事活動の中止及び総会などの会議にあっては、書面開催となりました。

活動の中止は残念ではありますが、消防署主催による秋の全国火災予防運動の啓発活動として市役所内で防火キャンペーンを実施しました。

令和4年度の行事活動にあっては、5月26日に消防署4階トレーニング室において総会を実施し、危機管理室の中野主査に救急に関する講話をお願いしました。

久しぶりにクラブ員の皆さんと顔を合わせ、元気であることを喜び合い、さらなる火災予防啓発を実施することを再確認いたしました。

次に、救急救命講習会は、9月21日、堺市消防局救急課の方にお越しをいただき「命を守る知識」の座学と「AED」を使つての実技を行いました。

忘れかけていた事を思い出して、心肺蘇生法の実技を教わり、クラブ員全員が命を守ることの大切さを改めて学び、終了後に「救命入門コース参加証」を頂きました。

11月には、研修会として堺市総合防災センターへの研修を予定しております。

1日も早く、新型コロナウイルス感染症が終息することを願いたいと思います。



発足40周年を迎えて

泉南市婦人防火クラブ

会長 竹中 智受代

令和 4 年 9 月 29 日（木）に泉南市総合福祉センター あいびあ泉南に於きまして、田中会長をはじめ泉南市長様等ご来賓の皆様方のご臨席を賜り、泉南市婦人防火クラブの発足40周年記念式典を開催させていただきました。

当防火クラブは、昭和57年3月、当市婦人会団体協議会を母体として発足し、「家庭の防火は主婦の手で」をモットーに研修、訓練、また防火広報や各種防火行事への参加に取り組んでまいりました。その一つとして救急講習、消防フェアを開催、最近では「泉南市イオン合同訓練」、防火パレード等に参加し、より一層の市民の方に向け広報活動を実施しております。

そのような中、平成30年9月4日近畿地方に台風21号が上陸しました。泉南市においても甚大な被害が発生しました。大阪泉州地域では発生しないとされていた災害を受けて、改めて災害への備えが重要であると感じました。そして、未だ猛威を振るっている新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、すべての行事等が中止となってしまいました。

前回、実施した住宅用火災警報器の共同購入事業から10年が経過したことを受け、2度目の共同購入事業の実施を計画しましたが、予定通りの実施にはいかなかったものの、皆様方のご理解を得て共同購入事業をやり遂げることができました。このことで1件でも私たちの地域から火災がなくなることを願っています。

最後に、私たち泉南市婦人防火クラブでは、住民の方に防火防災の更なる意識向上を持ってもらうために、引き続き普及啓発の取り組みをしていきたいと思ひます。



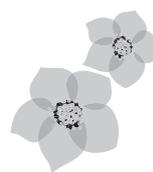
川
柳

パンドラの箱ぶつちやけたこの光景

コロナのウイルス地球を覆う

岸和田市婦人防火クラブ

西田 和子



大阪府婦人防火クラブ連絡協議会役員名簿

(会長、副会長、幹事及び監査委員の任期は令和 3 年 5 月から 2 年)

市 町 村 名			代 表 者 名	事 務 局
東	寝屋川市	会長	田 中 夏 美 寝屋川市婦人防火クラブ委員長	枚方寝屋川消防組合予防部予防指導課 ☎072-852-9912
	北		豊中市	副 会 長
中	柏原市	川 本 町 子 柏原市婦人防火クラブ会長	柏原羽曳野藤井寺消防組合予防課予防第 1 係 ☎072-958-9928	
南	貝塚市	幹 事	荒 本 政 美 貝塚市婦人防火クラブ委員長	貝塚市消防本部予防課 ☎072-422-9203
中	羽曳野市		木 村 眞知子 羽曳野市婦人防火クラブ会長	柏原羽曳野藤井寺消防組合予防課危険物兼保安係 ☎072-958-9929
南	和泉市	安河内 淑 子 和泉市女性消防クラブ連合会会長	和泉市消防本部予防課 ☎0725-41-6326	
北 ブ ロ ック	吹田市	委 員	阪 本 緑 吹田市家庭防火クラブ連絡協議会会長	吹田市消防本部総務予防室予防グループ ☎06-6193-1116
	箕面市		砂 原 加代子 箕面市婦人防火クラブ連絡会会長	箕面市消防本部予防室 ☎072-724-9995
	摂津市		田 賀 弥 生 摂津市女性防火クラブ連絡会会長	摂津市消防本部消防総務課 ☎06-6381-1171
東 ブ ロ ック	大東市	守 屋 美智子 大東市女性防火クラブ連絡協議会会長	大東四條畷消防組合大東消防署消防課 ☎072-871-4845	
	東大阪市	九 門 仁 子 東大阪市女性防火クラブ連絡協議会会長	東大阪市消防局予防広報課 ☎072-966-9662	
	四條畷市	古々本 香代子 四條畷市女性防火クラブ連絡協議会会長	大東四條畷消防組合四條畷消防署 ☎072-877-0119	
中 ブ ロ ック	大阪市	前 田 葉 子 大阪市女性防火クラブ連合会会長	大阪市消防局予防課 ☎06-4393-6332	
	河内長野市	中 村 美知代 河内長野市松ヶ丘婦人防火クラブ会長	河内長野市消防本部予防課 ☎0721-53-3699	
	松原市	中 野 昌 子 松原市婦人防火クラブ連合会会長	松原市消防本部予防課 ☎072-332-3304	
	藤井寺市	吉 田 明 子 藤井寺市婦人防火クラブ会長	柏原羽曳野藤井寺消防本部予防課 ☎072-958-9929	
	大阪狭山市	溝 端 洋 子 大阪狭山市女性防火クラブ会長	大阪狭山市危機管理室 ☎072-366-0011	
南 ブ ロ ック	岸和田市	鈴 木 久 江 岸和田市婦人防火クラブ会長	岸和田市消防本部予防課 ☎072-426-8604	
	泉州市	竹 中 智受代 泉州市婦人防火クラブ会長	泉州南消防組合泉州消防署 ☎072-485-0119	
	岬町	高 木 辰 子 岬町婦人防火クラブ連合会会長	泉州南消防組合岬消防署 ☎072-492-0119	